

平成25年8月21日開催教育委員会会議記録

1 開会・閉会等について

日時	平成25年8月21日(水) 午後3時00分
場所	教育委員会室
開会	午後3時00分
閉会	午後3時55分
出席委員	
委員 長	横井利男
委員	雁部隆治
委員	鈴木みゆき
委員	阿部博道
教育長	横山信雄
説明のために出席した職員	
教育委員会事務局次長	小暮真人
教育委員会事務局参事 (すみだ教育研究所長)	佐久間之
庶務課長	岩佐一郎
学務課長	齋藤好正
指導室長	橋爪昭男
生涯学習課長	前田泰伯
スポーツ振興課長	中山賢治
ひきふね図書館長	村田里美

2 会議の概要

- **横井委員長** それでは教育委員会を始めたいと思います。本日の会議録署名人は雁部委員にお願いいたします。

(平成25年4月17日教育委員会会議録確認)

議決事項第1

議案第38号「平成25年度学校(園)医等の退任に伴う感謝状の贈呈について」の案件を上程し、学務課長が説明する。

- **横井委員長** 議決事項第1議案第38号「平成25年度学校(園)医等の退任に伴う感謝状の贈呈について」原案どおり贈呈することにしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。
(「異議なし」の声あり)

- **横井委員長** 原案どおり決定いたします。

議決事項第2

議案第39号「平成25年度学校(園)医等の委嘱発令について」の案件を上程し、学務課長が説明する。

- **横井委員長** 議決事項第2議案第39号「平成25年度学校(園)医等の委嘱発令について」原案どおり委嘱することにしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。
(「異議なし」の声あり)

- **横井委員長** 原案どおり決定いたします。

議決事項第3

議案第40号「平成26年度使用教科書(特別支援学級用)の採択について」の案件を上程し、指導室長が説明する。

- **横井委員長** 今までこの中から選んでいたものを今度からは、選ばずにどれを使ってもいいということになるわけですね。
- **指導室長** 昨年度は、小中学校合わせて、文部科学省著作本が9種類ありました。一般図書を調査研究資料の中から51種類採択しましたが、絶版がある等の理由から、文部科学省も都の教育委員会もすべて採択するということになりました。
- **横井委員長** 支障がない本が採択されているわけですから、これを一括して認めるということによるのでしょうか。
- **横井委員長** それでは、議決事項第3議案第40号「平成26年度使用教科書(特別支援学級用)の採択について」原案どおり採択することにしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。
(「異議なし」の声あり)
- **横井委員長** 原案どおり決定いたします。

議決事項第4

議案第41号「登録無形文化財及び登録有形文化財の登録について」の案件を上程し、生涯学習課長が説明する。

- **雁部委員** これは、ほぼ原寸大ですか。
- **生涯学習課長** はい、原寸大です。
- **横井委員長** これは、泥面子なのですか。
- **生涯学習課長** はい、いわゆる泥面子と呼ばれております。当時の遊び方は、一律なものではなく、おはじきのように遊んでいたりと、コレクションとして子どもたちが集めていたり、諸説あります。
- **横井委員長** 今回の500点すべてが泥面子というわけではないのですか。
- **文化財指導員** 500点すべてがすべて泥面子です。たくさんの件数でしたので、資料として1ページしか添付しませんでした。500点全点拓本でとったものをこのように一部報告書よりコピー

一をして掲載させていただいています。これが、平成11年に登録しました9080点と一体の資料であるということが明らかなことから、今回追加登録ということで、一つのものとして伝えていけるように文化財保護審議会より答申していただいているところです。

- **横井委員長** 平成11年の9080点も泥面子なのですか。
- **文化財指導員** はいそうです。都内で、この広さでこれだけの大量な出土は汐留遺跡に次ぐもので、質の高いものです。全国的にも基礎資料として提示可能なことから一括して登録の決定をお願いする次第でございます。
- **横井委員長** それでは、議決事項第4議案第41号「登録無形文化財及び登録有形文化財の登録について」原案どおり登録することにしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。
(「異議なし」の声あり)
- **横井委員長** 原案どおり決定いたします。

報告事項第1

「重点課題の進捗状況について」、庶務課長、学務課長、指導室長、すみだ教育研究所が説明する。

- **横井委員長** 学校選択制度の検証について、平成26年度中には確定してその方向で27年に向けて進めるということですか。
- **学務課長** はい。
- **横井委員長** 夏休み中のチャレンジ教室の件ですが、120名までのキャパシティに対して、来た人は35人だけですか。
- **すみだ教育研究所長** 事前テストということで、あらかじめ基礎・基本ができていない子をターゲットとして募集したところ、希望者が少なかったので学力に関係なく希望者全員を採用しました。2日間通して出席してもらうのが条件でしたので、夏休み中の部活動や家族旅行の日程もあり、難しかったのかもしれませんが。今回の成果が口コミで広がれば、授業の良さを分かっていたかと思えますので、来年度以降はもう少し、人数の増加が望めるのではないかと思います。
- **横井委員長** せっかくの機会ですので、必要なお子さんが参加できるようになっていただきたいですね。会場は壱川中学校だけですか。北部地区と南部地区に拠点校を作るというのも、あってもいいのかもしれません。
- **すみだ教育研究所長** 各所で行ってほしいところですが、なかなか受諾してもらえません。今後、運営については検討が必要だと考えております。
- **雁部委員** 対応策の「家庭とともに子どもの学びをささえる」というところで、保護者が子どもの能力を把握していないということも問題だと思います。習熟度別のクラス分けをしたほうがいいのではという話が以前ありましたが、そういうことを行う場合に保護者に対して、お子さんの能力を把握してもらい、学力を身につける必要があることを細かく説明すれば保護者は納得すると思います。例えば、学力低位層だけを対象にすると、保護者としては、子どもの実際の能力を把握していないので、感情的に自分の子どもはそんなに低位層の方ではないと思い、行かせたくないと思う保護者がいると思います。きちんと説明をすることが大切です。チャレンジ教室は、どのレベルのお子さんが対象ですか。
- **すみだ教育研究所長** 当初は、基礎・基本の定着に課題がある子を中心にと考えておりましたが、結果的に人数が集まらず希望する学力の高い子どもも含めました。習熟度別ですので、できる子は

さらに発展的な学習を、基礎の身についていない子は基本から学ぶことができます。また、子どもたち3人に対して大学生が1人ということで、習熟度に合わせてクラス分けをしていますので、レベルに応じた教え方になっています。

- **雁部委員** 小学校の場合はきめ細かい通信簿が必要だと思います。親が子どもの学校での状態等を把握する機会が少なくなっているからです。学校での子どもの様子を知りたい保護者はたくさんいますので、このへんをきめ細かく報告できれば、かなり違うと思います。まず、家庭に学力等に興味を持ってもらう方向にするといいと思います。
- **すみだ教育研究所長** 各学校に夏休み前に保護者との面談の機会を設け、そこで学習状況を親に伝えています。

- **横井委員長** 他に報告事項はございませんか。委員さんからはいかがでしょう。
- **阿部委員** 9月21日に曳舟文化センターで開催される「子ども達の人権メッセージ発表会」についての情報提供です。この発表会は、人権擁護委員会と法務局が毎年主催していて、今年で20回目となります。今年の担当が墨田区ということで、主催者となっております。そして墨田区教育委員会も後援しております。先だって、8月にいじめ問題のシンポジウムがあり、そこでいろいろな制度やシステムの他に最終的には子ども達に対する人権の意識や教育が必要であるというような講演をいただきました。このメッセージの特色は、子ども達が自分で考えて、子ども達や大人の前で人権に関することを発表するというものです。私どもが聞いてもはっとするような意見等、面白い考え方等があり、毎年気づかされることが多いです。特に今回は墨田区が主催ですので、子ども達の人権教育という面では、大変参考になる機会だと思いますので、ぜひご出席ください。また、教育委員会が後援しておりますので、広報等もお願いしたいと思います。

- **横井委員長** 以上で、教育委員会を終了いたします。